

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 学而会

目次

【特別養護老人ホーム サンシャインプラザ】

1. 施設の概況
2. 基本理念と各事業の運営方針 1～2ページ
3. 各施設の状況
 - (1) 全体 3ページ
 - (2) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4～6ページ
 - (3) 短期入所生活介護事業(ショートステイ) 7～8ページ
 - (4) 通所介護事業(デイサービス) 9～10ページ
4. 事業実績 11～18ページ

【特別養護老人ホーム サンシャインセンター】

1. 施設の概況
2. 基本理念と各事業の運営方針 19～20ページ
3. 各施設の状況
 - (1) 全体 21ページ
 - (2) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 22～24ページ
 - (3) 短期入所生活介護事業(ショートステイ) 25～26ページ
4. 事業実績 27～33ページ

1. 施設の概況

- (1) 施設の所在地 福岡市早良区田村二丁目15番2号
- (2) 施設の名称 「特別養護老人ホームサンシャインプラザ」
- (3) 施設の事業と定員
 - 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
 - ユニット(共同生活室) 定員100名
 - ユニット内訳:9人×10ユニット(全室個室)
 - 10人×1ユニット(全室個室)
 - 短期入所生活介護事業(ショートステイ)
 - ユニット(共同生活室) 定員10名
 - ユニット内訳:10人×1ユニット(全室個室)
 - 通所介護事業(デイサービス) 定員25名
- (4) 施設の規模 敷地面積 7,000㎡
延床面積 6,749.7㎡
構造 鉄筋コンクリート3階建
- (5) 事業開始年月日 平成15年10月1日
- (6) 運営主体 社会福祉法人 学而会
- (7) 職員数 常勤職員56名、非常勤職員31名
計 87名 (平成31年3月31日現在)

2. 基本理念と各事業の運営方針

(1) 基本理念

地域社会や家庭では、もはや支えきれなくなった老後の自立を家庭と同じ日常生活をとおり、入所者みずから「誇り」と「自信」と「豊かな生活」を取り戻すため世話する者と世話される者という垣根をはずし、生活の主体者のよきパートナーとして、「共に楽しく暮らす」施設づくりを目指します。

(2) 運営方針

○ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

- 1 施設は、個人の尊厳を大切に、お互いの人権を尊重します。
- 2 施設は、寝たきりをつくらず、「オムツ」をはずし、起こすことに全力を注ぎます。
- 3 施設は、ひとりひとりの「生きがい」と「うるおい」を大切にいたします。
- 4 入所者が主体となって計画し、その役割を分担しあう、「いきいき」とした施設をつくります。
- 5 笑顔の絶えない明るい雰囲気をもち「安心」して生活できる施設をつくります。
- 6 施設は、地域福祉の拠点としての施設作りに励み、地域や家庭との結びつきを重視した経営をおこないます。
- 7 情報は公開します。(役員名簿、事業計画、決算等)
- 8 以上の努力の集約として可能な限り家庭における生活への復帰を目指すものとします。

○ 短期入所生活介護事業(ショートステイ)

- 1 要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを支援します。
- 2 利用拒否が強い利用者へもユニットスタッフを中心に、生活相談員・介護長・看護職員等が協同して取組みます。
- 3 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)運営方針の1～7に準じます。

○ 通所介護事業(デイサービス)

- 1 事業所は、在宅において生活している要介護又は要支援状態の利用者に通所していただき、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行います。
- 2 利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って各種のサービスを、利用者の心身の状況、生活環境等に応じて、利用者の選択を重視しながら、総合的かつ効率良く提供します。
- 3 本事業の運営にあたっては、地域との結びつきを重視し、関係市町村保険者、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、その他保健・医療・福祉サービスを提供するものとの綿密な連携を図り総合的なサービス提供に努めます。また、利用者増を目的としての体験利用等の広報に力を入れると共に、認知症防止として絵手紙やカラオケなどを開催し脳の活性化、健康体への自意識を高める等のサポートを行います。
- 4 介護の必要度が高い利用者についても受入、施設・家族・居宅支援事業所・医療機関と密に連携し、人間としての尊厳を守りながら支援を続けることで、当人の家族はもとより他のデイサービス利用者からの信頼を高められるよう努力します。

3.各施設の状況

(プラザ)

(1)全体

①事業別利用者数及び利用率(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

事業名	介護老人福祉施設	短期入所生活介護事業	デイサービスセンター
定員	100	10	25
稼働日数	365	365	308
延利用日数	34,787	3,280	4,879
1日平均	95.3	8.9	15.8
利用率	95.3%	89.9%	63.4%
(前年度利用率)	(94.0%)	(102.1%)	(53.6%)

②事業別人員配置表

平成31年3月31日現在

職 種	介護老人福祉施設		短期入所生活介護事業		デイサービスセンター	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1					
部門長					[1]	
介護長	[1]					
事務係長	[1]					
介護支援専門員	1		[1]			
生活相談員	1		[1]		1	
介護職員	35	21	4		1	1
看護職員	2	5			1	
機能訓練指導員	2			[1]		
歯科衛生士	1					
管理栄養士	1					
事務員	5	3				
嘱託医師		1				
小 計	49	30	4	0	3	1
事業別合計	79		4		4	
総合計	87					

常勤合計	56	非常勤合計	31
------	----	-------	----

[]は、他業務との兼任数を示し、合計には含まない。

※派遣職員 10名は含まない。

(2)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

(プラザ)

①特養入所者及び入院者状況表(平成30年度)

(定員100名)

	稼働日数	月初在籍者	同月入所者	同月退所者	在籍者総日数	入院者 総日数	実延べ入所 者総数	利用率	一日平均 入院者数
4月	30	98	2	1	2,905	85	2,990	99.7%	2.8
5月	31	99	1	3	2,970	103	3,073	99.1%	3.3
6月	30	97	3	3	2,792	138	2,930	97.7%	4.6
7月	31	97	1	4	2,713	250	2,963	95.6%	8.1
8月	31	94	3	3	2,790	162	2,952	95.2%	5.2
9月	30	94	2	1	2,570	270	2,840	94.7%	9.0
10月	31	95	3	6	2,665	277	2,942	94.9%	8.9
11月	30	92	2	3	2,565	217	2,782	92.7%	7.2
12月	31	91	2	2	2,720	125	2,845	91.8%	4.0
1月	31	91	6	2	2,800	98	2,898	93.5%	3.2
2月	28	95	1	2	2,553	106	2,659	95.0%	3.8
3月	31	94	4	5	2,782	131	2,913	94.0%	4.2
合計/ 平均	365	94.8	30	35	32,825	1,962	34,787	95.3%	5.4

④平成30年度入所前状況

	新規	再入所者
病 院	5	3
保健施設	8	0
その他施設	3	0
自 宅	11	0
計	27	3

⑤平成30年度退所状況

退所者数 29名	男性 9名	女性 20名	平均年齢	87.2歳
一時退所者数 6名	男性 0名	女性 6名	平均年齢	94.0歳

総計(退所・一時退所)	35
-------------	----

退所・一時退所の理由	人数
死 亡	8
長期入院 (入院後3カ月過ぎた方)	27
その他	0
合 計	35

(上記死亡者の内訳)

死因の病名	人数
呼吸不全	2
脳疾患	0
消化器系疾患	2
誤嚥(誤嚥性肺炎含む)	2
その他	2
合 計	8

⑥入院者状況

実入院者数	79名
延べ入院日数	1962日
平均入院日数	24.8日

左表入院疾患名	人数
肺疾患	20
脳疾患	9
心疾患	6
感染症	7
整形外科	10
消化器系疾患	16
その他	11
計	79

②年齢別表

100名定員

平成31年3月31日現在

(プラザ)

	男	女	全体
平均年齢	86.6歳	88.3歳	88.1歳
最高年齢	98歳	102歳	102歳
最低年齢	72歳	58歳	58歳

	男	女	全体
59歳以下	0	1	1
60～64歳	0	0	0
65～69歳	0	1	1
70～74歳	1	3	4
75～79歳	1	2	3
80～84歳	4	15	19
85～89歳	2	18	20
90～94歳	2	22	24
95～99歳	3	16	19
100以上	0	2	2
合計	13	80	93

③介護度状況

要介護度表	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男性	1	1	5	4	2	13
女性	6	9	20	29	16	80
人数	7	10	25	33	18	93

平均介護度	3.5
-------	-----

(プラザ)

(3)短期入所生活介護事業(ショートステイ)

①ショートステイ利用者数(平成30年度)

(定員10名)

	稼働日数	利用者数	延べ利用日数	1日平均利用者数	利用率
4月	30	22	257	8.5	85.7%
5月	31	23	249	8.0	80.3%
6月	30	22	258	8.6	86.0%
7月	31	22	269	8.6	86.8%
8月	31	24	260	8.3	83.9%
9月	30	23	306	10.2	102.0%
10月	31	26	291	9.3	93.9%
11月	30	28	306	10.2	102.0%
12月	31	24	322	10.3	103.9%
1月	31	23	248	8.0	80.0%
2月	28	24	246	8.7	87.9%
3月	31	23	268	8.6	86.5%
合計/ 平均	365	23.7	3,280	8.9	89.9%

②介護度別ショートステイ利用状況表(平成30年度)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	利用者数	平均介護度 (介1～介5) <small>要支援は除く</small>
4月	0	0	3	6	9	2	2	22	2.73
5月	0	0	4	7	5	3	4	23	2.83
6月	0	0	3	5	8	3	3	22	2.91
7月	0	0	4	7	5	3	3	22	2.73
8月	1	1	4	8	5	3	2	24	2.59
9月	0	0	5	5	7	4	2	23	2.70
10月	0	0	3	7	8	5	3	26	2.92
11月	0	0	1	9	10	5	3	28	3.00
12月	0	0	1	6	7	7	3	24	3.21
1月	0	0	3	6	5	7	2	23	2.96
2月	0	1	2	9	4	6	2	24	2.87
3月	0	1	3	7	6	5	1	23	2.73
合計	1	3	36	82	79	53	30	284	2.85
割合	0.4%	1.1%	12.7%	28.9%	27.9%	18.7%	10.3%		

(4)通所介護事業(デイサービス)

①デイサービスセンター利用状況表(平成30年度)

(定員25名)

	稼働日数	要支援 利用者数	要介護 利用者数	利用者 合計	延利用日数	1日平均 利用者数	利用率
4月	25	10	27	37	390	15.6	62.4%
5月	27	13	28	41	432	16.0	64.0%
6月	26	15	28	43	447	17.1	68.8%
7月	26	14	29	43	442	17.0	68.0%
8月	27	12	28	40	417	15.4	61.8%
9月	25	11	27	38	372	14.8	59.5%
10月	27	8	30	38	366	13.5	54.2%
11月	26	10	29	39	421	16.1	64.8%
12月	25	12	29	41	406	16.2	65.0%
1月	24	13	30	43	406	16.9	67.7%
2月	24	12	27	39	395	16.4	65.8%
3月	26	11	29	40	385	14.8	59.2%
合計	308	141	341	482	4,879	15.8	63.4%

(プラザ)

②介護度別・月別 デイサービス利用状況表(平成30年度)

	要支援 1	要支援 2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	利用者数
4月	4	6	10	9	6	1	1	37
5月	7	6	11	9	6	1	1	41
6月	7	8	13	8	5	1	1	43
7月	6	8	13	9	5	1	1	43
8月	5	7	12	9	4	2	1	40
9月	4	7	12	9	3	2	1	38
10月	4	4	11	10	4	4	1	38
11月	5	5	12	9	4	3	1	39
12月	5	7	12	9	3	4	1	41
1月	6	7	11	10	4	4	1	43
2月	6	6	10	11	3	3	0	39
3月	5	6	10	11	4	4	0	40
合計	64	77	137	113	51	30	10	482
割合	13.3%	16.0%	28.4%	23.4%	10.6%	6.2%	2.1%	

4. 事業実績

① 食事について ・・・資料1・2 (13.14 頁)

平成30年度も高齢者にあった栄養バランスのとれた食事を提供し、入所者、利用者の嗜好を取り入れた献立を行った。ユニットではおやつクラブとして、入所者と職員と一緒に食事やおやつ作りを行う他、ユニット毎でのイベントとして一緒に食事を作り、食事を作る過程で匂いを感じ、家庭的な雰囲気味わっていただく機会を設けた。

季節ごとに花見等のバスハイクにでかけることで、四季折々の雰囲気を味わっていただき、食事と一緒に楽しんでいただいた。

② 会議等について

施設運営会議月1回、リーダー会議月1回、衛生委員会・医療的ケア委員会・身体拘束委員会・事故対策検討委員会は月1回、入所検討委員会・給食委員会を3か月毎に行う等、職員に基本理念及び運営方針を周知徹底させると同時に問題点を出し合い、入所者の自立を積極的に推進した。

③ 職員研修について

施設内研修として、施設長や委員会、福岡歯科大学・福岡医療短期大学の教員や外部団体からも講師を招聘して勉強会を行い、職員の資質向上を行った。施設外研修としては、老施協、県社協、市社協、行政等の各種団体主催の研修に参加した。

施設内研修： 新人職員研修(4月に実施)、施設内研修セミナーを20回開催。
市内研修： 74件延104名が参加。
県外研修： 3件延3名が参加。

④ 災害訓練等について

災害時訓練として、避難、救助、通報、消火等の訓練を実施した。

定例の消火器、屋内消火栓の使用法その他、入所者の搬送訓練として、シーツやほうきを使った簡易担架の作成方法やAEDの使用法等を学んだ。また、近年起きた災害時の救助活動の記録を見て、救助活動時の注意点などを学んだ。

⑤ 施設内行事と地域との交流について ……資料3・4・5 (15～17 頁)

施設内の交流として、ボランティアによる行事、ユニット行事を行った。

夏祭りは、入所者と家族と一緒に楽しむことができるよう、全館で行った。出店やステージ、抽選会等様々なイベントを用意することで、みなさまに楽しんでいただける行事となるよう実施した。

また、今年度初めにカラオケ機器を導入して、ユニットに輪番で貸し出すことで、ユニットから懐かしい歌声が響いて、とても賑やかになった。圧巻は、年の暮れの各階ユニット対抗歌合戦で、歌い終わって間もなく点数が表示されると、利用者からは笑いと拍手そして高得点には歓声が沸き起こり、利用者、ご家族、スタッフが一体となって盛りあがることが出来た。

その他、施設外の交流として、ユニット又は協カユニット単位でドライブやバスハイク、ショッピング等を行い、心身のリフレッシュと社会的な交流を行った。

地域との交流として、かふえもりのいえを月 1 回実施した。田村校区や福岡学園との共催としてサンシャインプラザ、田村公民館、地域の集会所等を開催場所として行った。1 年間で延べ 1102 名の参加があった。このカフェは施設での開催の際には入所者と地域住民の方のふれあいの場ともなり、活気あふれるイベントとなった。

⑥ 事故等について

事故等は転倒・表皮剥離・皮下出血の事故が多く発生した。発生場所は居室・リビングが半数以上を占めていた。事故対策委員会を定期的開催し、転倒予防については、センサーマット等の福祉機器を導入し、入居者の行動を制限することなく安全が確保できるように対応した。また、表皮剥離や皮下出血の予防については、介助方法の見直しとケアの統一を図り、入居者に負担のかからない対応を随時検討し、実施した。

⑦ 実習・研修生等の受け入れ状況について ……資料6 (18 頁)

本年度も将来の後継者として、福祉の人材養成及び教育・研究者を育成するため、実習生等を 1,285 名受け入れた。周辺の大学・高等学校からの研修依頼が多く、今後も指導内容や実習内容を見直し、より多くの実習生を受け入れる。また、小学生の施設見学学習も積極的に受け入れた。

⑧ 家族等の面会者数について

面会者数は延べ 4,374 人であった。冬季については、感染拡大防止のため、面会制限を実施した。入所者は家族の来訪を楽しみにされているので、過ごしやすい雰囲気作りを心がけている。アウトドアでのスナップ写真をユニット内に掲示して入所者の日頃の様子をお知らせしている。

食事について

(プラザ)

<食事に関する方針>

利用者に必要な栄養素を充足させ、安全な食事の提供に努める。

1. 栄養量の状況

入所者栄養状況(ショートステイを含む) (1人1日当たり)

年・月別	熱量	たんぱく質	カルシウム	ビタミンC	鉄分
H30・4	1465 kcal	57.0 g	687 mg	103 mg	18.2 mg
5	1474 kcal	57.4 g	698 mg	101 mg	17.1 mg
6	1467 kcal	57.2 g	676 mg	103 mg	17.1 mg
7	1453 kcal	57.1 g	692 mg	107 mg	16.9 mg
8	1465 kcal	57.1 g	697 mg	109 mg	17.5 mg
9	1455 kcal	57.4 g	669 mg	101 mg	16.8 mg
10	1455 kcal	57.4 g	696 mg	102 mg	17.4 mg
11	1467 kcal	57.2 g	673 mg	105 mg	17.0 mg
12	1465 kcal	57.4 g	682 mg	103 mg	17.9 mg
H31・1	1472 kcal	57.9 g	678 mg	103 mg	17.2 mg
2	1487 kcal	57.7 g	666 mg	103 mg	17.5 mg
3	1483 kcal	57.8 g	677 mg	105 mg	17.5 mg

2. 年齢構成と荷重平均栄養所要量

生活活動強度 I (低い)

平成31年3月分

年齢	性別		熱量(kcal)		たんぱく質(g)		カルシウム(mg)		ビタミンC(mg)		鉄分(mg)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
55～59	0	1	2100	1650	60	50	700	650	100	100	7.5	6.5
60～64	0	0	2100	1650	60	50	700	650	100	100	7.5	6.5
65～69	0	1	2100	1650	60	50	700	650	100	100	7.5	6.5
70～74	1	3	1850	1500	60	50	700	650	100	100	7.0	6.0
75～79	1	2	1850	1500	60	50	700	650	100	100	7.0	6.0
80～	11	73	1850	1500	60	50	700	650	100	100	7.0	6.0
1人1日平均			1563		51.7		659		100		6.2	

サンシャインプラザ行事食

(プラザ)

月日	行事名	献立
平成30年4月5日	春のお花見御膳	炊き込みご飯・魚の塩焼き・菜の花の和え・果物盛り合わせ・茶碗蒸し
7日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
28日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
5月5日	端午の節句	穴子ちらし寿司・焼き魚盛り合わせ・菜種和え・吸い物・和菓子
15日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
18日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
6月5日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
9日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
7月5日	10丁目誕生日会	おやつにケーキ
7日	七夕	散し寿司・鯛の塩焼き・煮物盛り合わせ・そうめん汁・和菓子
9日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
20日	土用の丑の日	うな丼・冬瓜のあんかけ・果物・吸い物
43323	夏祭り	おやつにケーキ
16日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
9月8日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
16日	敬老会	栗赤飯・魚のきのこ蒸し・酢味噌和え・果物・茶碗蒸し・和菓子
10月12日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
13日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
11月26日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
27日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
12月24日	クリスマス	照り焼きチキン・ミモザサラダ・ミネストローネ・果物おやつにケーキ
31日	大晦日	年越しそば
平成31年1月1日	元旦	朝食: 伊達巻き・紅白なます 昼食: 赤飯・雑煮・黒豆・栗きんとん・市松・数の子・紅白かまぼこ・有頭えびの煮物 おやつに和菓子 練り切り(梅) 夕食: 鯛の塩焼き・煮しめ
2日	正月	ちらし寿司・穴子八幡巻・高野豆腐の射込み・彩り巻・花人参・雑煮
7日	七草粥	朝食に七草粥
11日	鏡開き	ぜんざい
25日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
43499	節分	稲荷寿司・太巻き・筑前煮・吸い物・いちご・卵ポーロ・ジュース
4日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
7日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ
14日	バレンタインデー	チョコプリン
3月3日	ひな祭り	ちらし寿司・鯛の塩焼き・沢煮椀・果物盛り合せ おやつに三色ゼリー
19日	寿司バイキング	
25日	デイサービス誕生日会	おやつにケーキ

毎月1日は赤飯を取り入れています。

平成30年度 サンシャインプラザ行事

(プラザ)

4月	3日・23日 コーヒー喫茶 15日 家族会 21日 絵手紙教室	12日 お化粧品教室 17日 手作り教室 22日 かふえもりのいえ
5月	3日 どんたく喫茶 13日 かふえもりのいえ 19日 絵手紙教室	8日・21日 コーヒー喫茶 15日 手作り教室
6月	5日・11日 コーヒー喫茶 12日 歌謡ショー 19日 手作り教室 27日 お化粧品教室	10日 かふえもりのいえ 16日 絵手紙教室 25日 交歓大会
7月	8日 かふえもりのいえ 12日・23日 コーヒー喫茶 21日 絵手紙教室	10日 ギターサークル演奏会 17日 手作り教室
8月	9日・20日 コーヒー喫茶 18日 絵手紙教室 21日 手作り教室	11日 夏祭り 19日 かふえもりのいえ 23日 お化粧品教室
9月	3日・13日 コーヒー喫茶 16日 敬老会 23日 かふえもりのいえ	15日 絵手紙教室 18日 手作り教室
10月	11日・15日 コーヒー喫茶 20日 絵手紙教室 23日 手作り教室	18日 レクリエーション大会 21日 かふえもりのいえ
11月	8日・19日 コーヒー喫茶 17日 絵手紙教室 20日 手作り教室	16日 高齢者作品展 18日 かふえもりのいえ
12月	3日・13日 コーヒー喫茶 15日 絵手紙教室 18日 手作り教室	11日 お化粧品教室 16日 かふえもりのいえ
1月	10日 コーヒー喫茶 15日 手作り教室 20日 かふえもりのいえ	11日 新年会 19日 絵手紙教室
2月	17日 かふえもりのいえ	(※インフルエンザ流行のため、2月の施設内行事を中止)
3月	14日・18日 コーヒー喫茶 17日 かふえもりのいえ	16日 絵手紙教室 19日 手作り教室

平成30年度 バスハイク・おやつクラブ

月	行先、参加人数	
4月	6・12丁目 バスハイク(外食) 3名 6・7丁目 バスハイク(外食) 3名	11丁目 おやつクラブ 18名 13・15丁目 バスハイク(お花見)13名
5月	3階 遊び塾 45名 6・7丁目 バスハイク(外食) 3名 12丁目 バスハイク(外食) 3名	6丁目 バスハイク(買い物) 3名 10・11・12丁目 合同たこ焼き会 35名 13・15丁目 誕生日会 12名
6月	2階 遊び塾 45名 6丁目 バスハイク(外食) 3名 12丁目 バスハイク(外食) 3名	3階 遊び塾 45名 7・12丁目 バスハイク(外食) 3名
7月	2階 遊び塾 25名 6・7丁目 バスハイク(外食) 3名	3階 遊び塾 45名 7丁目 バスハイク(紫陽花見学) 4名
8月	2階 遊び塾 51名 12丁目 バスハイク(外食) 2名	3階 遊び塾 45名
9月	2階 遊び塾 45名 11丁目 誕生日会 13名	3階 遊び塾 45名 6・7丁目 バスハイク(外食) 3名
10月	2階 遊び塾 40名 7・12丁目 バスハイク(外食) 3名 3丁目 バスハイク(コスモス見学)8名	3階 遊び塾 45名 12丁目 バスハイク(買い物) 2名 6・7丁目 バスハイク(外食) 3名
11月	2階 遊び塾 40名 11丁目 バスハイク(コスモス見学)19名	3階 遊び塾 45名 5・12丁目 バスハイク(コスモス見学)6名
12月	2階 遊び塾 51名 12丁目 バスハイク(コスモス見学)7名	3階 遊び塾 45名
1月		
2月	(※インフルエンザ流行のため、2月の施設内行事・外出を中止)	
3月		

※上記他、入居者の誕生日会をユニット等で実施

平成30年度 デイサービスセンター行事

月	行事名 参加人員
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・7日、28日誕生会 ・1日、2日、14日バスハイク(ドライブ 桜見物他) ・21日絵手紙 ・24日ショッピング
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・15日、18日誕生会 ・19日絵手紙 ・24日、25日外食会(かつぱ寿司) ・12日消防・災害避難訓練 PM1:30～
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・5日、9日誕生会 ・16日絵手紙 ・21日、22日ドライブ(曲淵ダム他)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・9日誕生会 ・24日、27日外食会(かつぱ寿司) ・21日絵手紙
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・9日、16日誕生会 ・18日絵手紙
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・8日誕生会 ・15日絵手紙 ・21日、25日外食会(こんぴら丸)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・12日、13日誕生会 ・田の歯科祭見学 ・20日絵手紙
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・26日、27日誕生会 ・19日、20日バスハイク 紅葉見学+外食会(かつぱ寿司) ・17日絵手紙
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・14日誕生会 ・24日、25日クリスマス・忘年会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・4日新年会 ・11日誕生会 ・11日、12日三味線コンサート
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・8日誕生会 ・19日カラオケ大会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・13日、25日誕生会 ・28日、29日外食会(かつぱ寿司) ・29日消防・災害避難訓練 PM1:30～
備考:地域交流スペースで行われる行事・催し物はデイサービスの営業時間帯には全て参加	

資料6

(プラザ)

平成30年度実習・研修生等受け入れ状況

(単位:名)

月	初任者 実務者 研修	福岡県社会福祉協議会 (小学校及び中学校の教諭免許状授与に係わる実習)											月計①			
		小学校	高校	専門学校	大学生		企業 研修 (派遣会社)	佛科大学	中村学園 大学	九州産業 大学	西南学院 大学	筑紫女学 園大学		福岡教育 大学	九州大学	
		田村 小学校 施設見学	講倫館 高校 職場体験	麻生専門 学校 社会 福祉士	九州大学 歯学部	福岡大学 医学部										
4																0
5															4	4
6					5	6	2	5								18
7						4										4
8					8							15				23
9					10							5	5	5	5	30
10	1	145										5				151
11											5					5
12				6												6
1																0
2																0
3					2					10						12
合計	1	145	6	25	10	4	2	5	10	5	25	5	5	5	5	253

月	福岡歯科大学			福岡看護大学	福岡医療短期大学								月計②	総計 ① + ②	
	第1学年	第3学年	第5学年	第1学年	歯科衛生学科			保健福祉学科							
	介護実習	介護実習	介護実習	フィールド 実習 ボランティア	臨床実習	初任者 研修	1学年 体験学習	I-a	I-b	I-c	II				
4			60		44		4							108	4月 108
5			70	30	67					9				176	5月 180
6			81		73					21				175	6月 193
7			24		48				8					80	7月 84
8					3				13		13			29	8月 52
9					80						8			88	9月 118
10	30	32			68						36			166	10月 317
11	21				79					13				113	11月 118
12					49					3				52	12月 58
1					4									4	1月 4
2										3				3	2月 3
3				24		8				6				38	3月 50
合計	51	32	235	54	515	8	4	21	25	43	44		1032	合計 1285	

29年度 1445
※延べ人数で記載

1. 施設の概況

- (1) 施設の所在地 福岡市早良区干隈六丁目10番20号
- (2) 施設の名称 「特別養護老人ホームサンシャインセンター」
- (3) 施設の事業と定員
 - 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
 - ユニット(共同生活室) 定員70名
 - ユニット内訳:10人×7ユニット(全室個室)

 - 短期入所生活介護事業(ショートステイ)
 - ユニット(共同生活室) 定員10名
 - ユニット内訳:10人×1ユニット(全室個室)
- (4) 施設の規模 敷地面積 3,062.24㎡
延床面積 3,384.95㎡
構造 鉄筋コンクリート造3階建(耐火建築)
- (5) 事業開始年月日 平成28年 2月1日
- (6) 運営主体 社会福祉法人 学而会
- (7) 職員数 常勤職員33名、非常勤職員11名
計 44名 (平成31年3月31日現在)

2. 基本理念と各事業の運営方針

(1) 基本理念

地域社会や家庭では、もはや支えきれなくなった老後の自立を家庭と同じ日常生活をとおして、入所者みずからが「誇り」と「自信」と「豊かな生活」を取り戻すため世話する者と世話される者という垣根をはずし、生活の主体者のよきパートナーとして、「共に楽しく暮らす」施設づくりを目指します。

(2) 運営方針

○ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

- 1 施設は、個人の尊厳を大切に、お互いの人権を尊重します。
- 2 施設は、寝たきりをつくらず、「オムツ」をはずし、起こすことに全力を注ぎます。
- 3 施設は、ひとりひとりの「生きがい」と「うるおい」を大切にいたします。
- 4 入所者が主体となって計画し、その役割を分担しあう、「いきいき」とした施設をつくります。
- 5 笑顔の絶えない明るい雰囲気を持ち「安心」して生活できる施設をつくります。
- 6 施設は、地域福祉の拠点としての施設作りに励み、地域や家庭との結びつきを重視した経営をおこないます。
- 7 情報は公開します。(役員名簿、事業計画、決算等)
- 8 以上の努力の集約として可能な限り家庭における生活への復帰を目指すものとします。

○ 短期入所生活介護事業

- 1 要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを支援します。
- 2 利用拒否が強い利用者へもユニットスタッフを中心に、生活相談員・介護長・看護職員等が協同して取組みます。
- 3 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)運営方針の1～7に準じます。

3.各施設の状況

(センター)

(1)全体

①事業別利用者数及び利用率(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

事業名	介護老人福祉施設	短期入所生活介護事業
定員	70	10
稼働日数	365	365
延利用日数	25,434	3,198
1日平均	69.7	8.8
利用率	99.5%	87.6%
(前年度利用率)	(99.3%)	(80.0%)

②事業別人員配置表

平成31年3月31日現在

職 種	介護老人福祉施設		短期入所生活介護事業	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1			
部門長				
介護長	[1]			
事務課長				
介護支援専門員	1			
生活相談員	1			
介護職員	21	6	3	0
看護職員	2	3		
機能訓練指導員				
歯科衛生士	1			
管理栄養士	1			
事務員	2	1		
嘱託医師		1		
小 計	30	11	3	0
事業別合計	41		3	
総合計	44			

常勤合計	33	非常勤合計	11
------	----	-------	----

[]は、他業務との兼任数を示し、合計には含まない。
 ※派遣職員13名は含まない。

(2)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

(センター)

①特養入所者及び入院者状況表(平成30年度)

(定員70名)

	稼働日数	月初在籍者	同月入所者	同月退所者	在籍者総日数	入院者総日数	実延べ入所者 総数	利用率	一日平均 入院者数
4月	30	70	2	3	1,962	121	2,083	99.2%	4.0
5月	31	69	2	2	2,040	111	2,151	99.1%	3.6
6月	30	69	2	1	1,939	117	2,056	97.9%	3.9
7月	31	70	2	2	2,072	95	2,167	99.9%	3.1
8月	31	70	1	1	2,113	41	2,154	99.3%	1.3
9月	30	70	0	0	2,069	31	2,100	100.0%	1.0
10月	31	70	1	1	2,026	142	2,168	99.9%	4.6
11月	30	70	1	3	2,039	49	2,088	99.4%	1.6
12月	31	68	3	1	2,102	68	2,170	100.0%	2.2
1月	31	70	1	1	2,069	98	2,167	99.9%	3.2
2月	28	70	2	2	1,933	27	1,960	100.0%	1.0
3月	31	70	0	0	2,140	30	2,170	100.0%	1.0
合計/ 平均	365	69.7	17	17	24,504	930	25,434	99.5%	2.5

②年齢別表

70名定員

平成31年3月31日現在

	男	女	全体
平均年齢	82.8歳	86.9歳	86.6歳
最高年齢	94歳	102歳	102歳
最低年齢	70歳	67歳	67歳

	男	女	全体
59歳以下	0	0	0
60～64歳	0	0	0
65～69歳	0	2	2
70～74歳	1	3	4
75～79歳	0	8	8
80～84歳	3	13	16
85～89歳	1	10	11
90～94歳	1	16	17
95～99歳	0	9	9
100以上	0	3	3
合計	6	64	70

③介護度状況

要介護度表	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男性	0	3	2	1	0	6
女性	6	16	19	15	8	64
人数	6	19	21	16	8	70

平均介護度	3.0
-------	-----

④平成30年度入所前状況

(センター)

	新規	再入所者
病 院	2	0
老人保健施設	1	0
その他施設	2	0
自 宅	12	0
計	17	0

⑤平成30年度退所状況

退所者数 15名	男性 3名	女性 12名	平均年齢	90.9歳
一時退所者数 2名	男性 0名	女性 2名	平均年齢	95.5歳

総計(退所・一時退所)	17
-------------	----

退所・一時退所の理由	人数
死 亡	6
長期入院 (入院後3カ月過ぎた方)	10
そ の 他	1
合 計	17

(上記死亡者の内訳)

死因の病名	人数	
呼吸不全	1	
脳疾患	0	
消化器系疾患	0	
誤嚥(誤嚥性肺炎含む)	1	
その他	(老衰)	3
	(多臓器不全)	1
合 計	6	

⑥入院者状況

実入院者数	50
延べ入院日数	930
平均入院日数	18.6

左表入院疾患名	人数
肺疾患	11
脳疾患	6
心疾患	4
感染症	8
整形外科	7
消化器系疾患	4
その他	10
計	50

(3)短期入所生活介護事業(ショートステイ)

(センター)

①ショートステイ利用者数(平成30年度)

(定員10名)

	稼働日数	利用者数	延べ利用日数	1日平均利用者数	利用率
4月	30	25	262	8.7	87.3%
5月	31	26	254	8.2	81.9%
6月	30	25	271	9.0	90.3%
7月	31	21	268	8.6	86.5%
8月	31	23	306	9.9	98.7%
9月	30	26	273	9.1	91.0%
10月	31	22	262	8.5	84.5%
11月	30	26	237	7.9	79.0%
12月	31	25	270	8.7	87.1%
1月	31	28	250	8.1	80.6%
2月	28	23	249	8.9	88.9%
3月	31	24	296	9.5	95.5%
合計/ 平均	365	294	3,198	8.8	87.6%

②介護度別ショートステイ利用状況表(平成30年度)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	利用者数	平均介護度 (介1～介5) <small>要支援は除く</small>
4月		1	5	8	8	1	2	25	2.4
5月	1	1	6	7	8	1	2	26	2.2
6月		1	4	7	9	3	1	25	2.5
7月	2		2	6	7	3	1	21	2.5
8月	2	1	1	8	6	4	1	23	2.4
9月			4	10	8	3	1	26	2.5
10月			2	8	7	4	1	22	2.7
11月	1	1	4	8	9	2	1	26	2.3
12月			1	10	9	4	1	25	2.8
1月			3	11	9	3	2	28	2.6
2月		1	5	10	3	3	1	23	2.2
3月	1		5	11	4	2	1	24	2.2
合計	7	6	42	104	87	33	15	294	2.4
割合	2.4%	2.1%	14.3%	35.4%	29.6%	11.3%	4.9%		

4. 事業実績

① 食事について

…資料7・8(29.30頁)

高齢者に合った栄養のバランスのとれた食事を提供し、入所者、利用者の嗜好を取り入れた献立を行った。行事ごとに行事食を提供することで、入所者の施設に居ながらも、季節を味で感じ一緒に楽しむ機会を設けた。

施設内に閉じ込めないアウトドアの取り組みを積極的に行い、屋外散歩や外食、近隣のスーパーへの買い物等生活の一部に楽しむことを取り入れ、その様子を家族へ報告している。

② 会議等について

施設運営会議月1回、リーダー会議月2回(うち1回は業務改善委員会)、ユニット会議・行事・地域交流委員会・介護事故防止対策検討委員会(身体拘束廃止委員会)・衛生委員会は月1回、入所検討委員会・給食委員会・感染症防止対策委員会(褥瘡対策委員会)・安全委員会を3か月毎に行う等、職員に基本理念及び運営方針を周知徹底させると同時に問題点を出し合い、入所者の自立支援を積極的に推進した。また摂食嚥下困難な入所者の事故発生が増加したことを受け、摂食嚥下対策委員会を創設、介護事故対策検討委員会と並行開催することとした。

③ 職員研修について

施設内研修として、施設長や職員、外部講師や他施設からの職員を講師に招聘して勉強会を行い、職員の資質向上を行った。またサンシャインプラザの施設内研修にも参加できるようにした。施設外研修としては、福岡市主催の研修をはじめ全国老協研修全国大会に参加した。

施設内研修： 新規職員採用研修(4・8・11・2月)、福岡医療短期大学専攻科口腔保健衛生学専攻生によるスタッフ研修(2回)、サービスの質の向上や安全管理等の研修(25回)

市内研修： 79件延98名参加

県外研修： 1件1名が参加

④ 災害訓練等について

災害時訓練として、避難、救助、通報、消火等の訓練を3回実施した。

定例の消火器、屋内消火栓の使用方法を学んだ。また東日本大震災の教訓を踏まえ、水害に対する訓練及び非常食の試食会を行った。

⑤ 入所者の自立支援について

サンシャインセンターのモットーである自立支援介護の取り組みとして、水分摂取・食事の摂取・常食への移行・座位排便・歩行を行っている。昨年同様、現在も日中はオムツ着用率ゼロであった。本人の自立性の回復とともに介護負担軽減に繋がったことでバスハイクや食事レクリエーションを開催する機会が増えた。また体調改善に伴い、入院総日数が昨年の2/3まで減少、収入増に繋がった。今後も自立支援介護の実践を継続して“地域住民に選ばれる施設”を目指していく。

⑥ 地域との交流等について …… 資料9・10(31.32 頁)

地域の方々をはじめ市内の福祉施設及び地域包括のケアマネージャー等の施設見学を積極的に受け入れた。また趣味活動の教室ではカラオケ機器を使った音楽健康促進教室を新たに開設、非常に好評を得ている。夏祭りには、ボランティア団体による音楽や踊りの披露、そうめん流しでとても賑わった。敬老会では、和みの会による祝舞のほか、100歳を迎えられた入所者を囲んで、ご長寿を祝った。

その他、施設外の交流として、ユニット単位でドライブやバスハイク、ショッピング等を行い、心身のリフレッシュと社会的な交流を行っている。

⑦ 事故等について

事故等は、転倒・転落・褥瘡・誤嚥が発生した。転倒・転落についてはセンサーマットを積極的に導入して入所者の転倒につながる動きを早めにとらえて、大きな転倒防止や、早めの発見による被害拡大防止を図った。介護事故防止対策検討委員会では事故防止対策後の本人の様子の確認をはじめマニュアル遵守の啓発、再発防止策の見直しを実施。同じような事故については十分注意し、入所者それぞれに対応した環境整備や対策・評価を行った。褥瘡については臀部が多く、エアマットの設置、体位変換の実施の他シーティング・ポジショニングの技術を習得しリスクに応じた体圧分散を実施している。摂食嚥下障害に伴う誤嚥事故については専門委員会を立ち上げ、多職種での意見交換及び外部研修への参加を推進し再発防止に取り組んでいる。

⑧ 実習・研修生等受け入れ状況について …… 資料 11(33 頁)

将来の後継者として、福祉の人材養成及び教育・研究者を育成するため、積極的に実習生等を 329 名受け入れた。研修依頼に対し、指導内容や実習内容を把握しより多くの実習生を受け入れることができるよう実習受け入れに対する整備・点検を行うことで大変好評を得ている。今後小・中学生の体験学習や自立支援介護講座の開講など積極的に実施する方向で準備している。

⑨ 家族等の面会件数について

面会件数は 6,853 件であった。入所者は家族の来訪を楽しみにされているので、過ごしやすい雰囲気作りを心がけている。職員のスナップ写真をユニット出入り口に掲示して入所者の担当者として知っていただき、ご家族に日頃の様子を報告する等の他、会話をする機会を設ける等工夫している。

⑩ 地域交流室の利用について

地域老人クラブの趣味活動の場として無料開放、サンシャインセンター各種委員会の開催、サービス担当者会議の開催を行っている。今後地域や大学・福祉関係者等に幅広く利用してもらい、気軽に利用できる施設運用を目指していく。

食事について

<食事に関する方針>

高齢者に合った栄養のバランスの取れた食事を考え、入居者、利用者の嗜好を取り入れた献立を実施する。

1. 栄養量の状況

入所者栄養状況(ショートステイを含む) (1人1日当たり)

年・月別	熱量	たんぱく質	カルシウム	ビタミンC	鉄分
H30・4	1,460Kcal	58.2g	740mg	100mg	25.5mg
5	1,453Kcal	58.4g	724mg	101mg	25.3mg
6	1,462Kcal	58.2g	730mg	101mg	25.5mg
7	1,457Kcal	58.0g	728mg	100mg	25.6mg
8	1,453Kcal	56.9g	730mg	105mg	25.6mg
9	1,459Kcal	57.9g	747mg	105mg	25.6mg
10	1,458Kcal	56.4g	742mg	100mg	25.5mg
11	1,453Kcal	57.9g	749mg	100mg	25.7mg
12	1,469Kcal	58.2g	761mg	100mg	26.0mg
H31・1	1,473Kcal	58.3g	745mg	103mg	25.8mg
2	1,470Kcal	57.2g	744mg	100mg	25.9mg
3	1,467Kcal	58.1g	730mg	100mg	25.6mg

2. 年齢構成と荷重平均栄養所要量

生活活動強度Ⅱ(やや低い)

平成31年3月分

年齢	性別		熱量(kcal)		たんぱく質(g)		カルシウム(mg)		ビタミンC(mg)		鉄分(mg)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
60～64	0	0	2,000	1,650	65	55	600	600	100	100	10	12
65～69	0	2	2,000	1,650	65	55	600	600	100	100	10	12
70～74	1	3	1,850	1,500	65	55	600	600	100	100	10	10
75～79	0	8	1,850	1,500	65	55	600	600	100	100	10	10
80～	5	51	1,850	1,500	65	55	600	600	100	100	10	10
1人1日平均			1567		56		600		100		10	

サンシャインセンター行事食

月 日	行 事 名	献 立
平成30年4月15日	春の行楽行事	桜おこわ、天ぷら、鯉の香味焼き、果物、茶碗蒸し 間食: 芋ぜんざい
5月5日	端午の節句	山菜ちらし寿司、煮物盛り合わせ、果物、潮汁 間食: 和菓子(柏餅)
6月28日	初夏の味彩弁当(家族会)	寿司盛り合わせ、筑前煮、茶碗蒸し、果物 間食: 抹茶ケーキ
7月7日	七夕	鮭ちらし寿司、星ハンバーグ、すいか、冷製茶碗蒸し 間食: 七夕ゼリー
7月20日	土用丑の日	うな井、大根サラダ、すいか、沢煮鮎
8月15日	お盆	間食: やわらかおはぎ
8月19日	夏祭り	流しそうめん、おやつ釣りゲーム(菓子、ジュース等)
9月16日	松花堂弁当	栗おこわ、天ぷら、梅風味彩りなます、果物、冷製茶碗蒸し 間食: 和菓子(鯛)
9月18日	敬老の日	カニ散らし寿司、煮物盛り合わせ、果物、梅そうめん汁
9月23日	彼岸	間食: やわらかおはぎ
10月31日	ハロウィン	間食: 南瓜プリン
12月24日	クリスマス	エビピラフ、フライドチキン、コールスローサラダ、果物、南瓜スープ 間食: ストロベリーケーキ
12月31日	大晦日	年越しそば、わかめおにぎり、さつま芋のいとこ煮、果物
平成31年1月1日	元旦	【2回食】正月おせち: 赤飯、博多雑煮、博多煮しめ、甘味、おせち(伊達巻き、きんとん、田作り、数の子、紅白なます、黒豆、有頭えび、鶏八幡巻き)
1月2日	正月	ちらし寿司、鯉の西京焼き、茶碗蒸し、果物 間食: 和菓子(梅)
1月7日	七草	七草粥、筑前煮、春雨サラダ、果物
1月11日	鏡開き	肉うどん、菜飯おにぎり、大根サラダ、果物 間食: 白玉ぜんざい
2月1日	開設3周年(創立記念)	間食: 紅白饅頭
2月3日	節分	太巻きいなり寿司、鯛の梅煮、大豆の五目煮、果物、そうめん汁 間食: 節分ぼろろ、リンゴジュース
2月14日	バレンタイン	間食: バレンタインパバロア
3月3日	ひなまつり	海老ちらし寿司、野菜かき揚げ、果物、清汁 間食: ひし形3食ゼリー
3月21日	彼岸	間食: やわらかおはぎ

毎月1日は赤飯を取り入れています。

平成30年度 サンシャインセンター行事

(センター)

資料9

4月	1・15日 ハンドマッサージ 8日 日本舞踊慰問 18日 傾聴ボランティア 24日 公文教室	6日 音楽教室 18日 健康体操教室 20日 裁縫教室
5月	5・16・26日 傾聴ボランティア 8日 音楽教室 13日 三味線慰問 18日 裁縫教室 25日 オカリナ・ギター演奏慰問	7・21日 ハンドマッサージ 11日 書道教室 16日 化粧セラピー 23日 健康体操教室 29日 公文教室
6月	3・17日 ハンドマッサージ 8日 書道教室 15日 裁縫教室 20日 傾聴ボランティア	5日 音楽教室 10日 演芸慰問 19日 健康体操教室 29日 公文教室
7月	1・15日 ハンドマッサージ 8日 フラダンス慰問 13日 書道教室 20日 裁縫教室 27日 公文教室	6日 音楽教室 9・23日 パン販売 18日 化粧セラピー・傾聴ボランティア 26日 健康体操教室
8月	3日 音楽教室 6・27日 パン販売 19日 夏祭り 24日 公文教室	5・26日 ハンドマッサージ 17日 裁縫教室 22日 傾聴ボランティア 29日 健康体操教室
9月	2日 ハンドマッサージ 7日 音楽教室 16日 敬老会 21日 裁縫教室 28日 公文教室	4・18・19日 傾聴ボランティア 14日 書道教室 19日 化粧セラピー 26日 健康体操教室
10月	1日 ハンドベル慰問 5日 音楽教室 12日 書道教室 19日 裁縫教室 31日 健康体操教室	2・13・16・27日 傾聴ボランティア 7・21日 ハンドマッサージ 14日 演芸慰問 26日 公文教室
11月	2日 音楽教室 6・10・21・24日 傾聴ボランティア 13日 健康促進教室 19日 パン販売 22日 絵手紙教室 30日 公文教室	4・25日 ハンドマッサージ 9日 書道教室 18日 紙芝居慰問 21日 化粧セラピー 28日 健康体操教室
12月	2・23日 ハンドマッサージ 4日 健康促進教室 13日 絵手紙教室 18日 健康体操教室 21日 裁縫教室 26日 公文教室	4・8・18・19・29日 傾聴ボランティア 7日 音楽教室 14日 書道教室 20日 パン販売 24日 ハンドベル慰問 27日 九州プロレス慰問
1月	4日 音楽教室 11日 書道教室 16日 化粧セラピー 18日 裁縫教室	6日 演芸慰問 12・15・16・26・29日 傾聴ボランティア 17日 パン販売 22日 健康体操教室
2月	5・9・19・20・23日 傾聴ボランティア 10日 演芸慰問 15日 裁縫教室 22日 公文教室	8日 書道教室 12日 音楽教室 21日 パン販売 27日 健康体操教室
3月	1日 音楽教室 8日 書道教室 14日 健康体操教室 20日 パン販売・化粧セラピー	5・9・19・20・23日 傾聴ボランティア 10日 ギター演奏慰問 15日 裁縫教室 22日 公文教室

平成30年度 バスハイク・おやつクラブ

月	行先、参加人数	
4月	6日 お花見 4名(5丁目) 26日 ガーデニング 10名(5丁目)	21日 ゲーム大会 12名(8,10丁目)
5月	17日 外食(かつぱ寿司) 8名(8丁目) 31日 外食(さんぞくや) 10名(3丁目)	
6月	1日 らっきょう漬けづくり 10名(1丁目) 22日 セタ飾り 6名(5丁目) 26日 フルーツスムージーづくり 14名(8,10丁目)	18、26日 あじさい見学(舞鶴公園) 8名(5丁目)
7月	17日 外食(かつぱ寿司) 7名(7丁目) 31日 誕生会 17名(8,10丁目)	26日 誕生会 10名(6丁目)
8月	10日 外食(かつぱ寿司) 10名(10丁目) 30日 福岡タワーバスハイク 10名(3丁目) 31日 ミルクケーキとフルーツゼリーづくり 9名(5丁目)	26日 誕生会 10名(1丁目) 30日 すいか割り 16名(6,8,10丁目)
9月	15日 誕生会 13名(8,10丁目) 26、27日 ベイサイドバスハイク 8名(5丁目)	23日 誕生会 8名(1丁目)
10月	24日 誕生会 20名(8,10丁目) 29日 フラワーアレンジメント 10名(5丁目)	27日 コスモス見学(周船寺) 6名(6丁目) 30日 外食(石蔵) 10名(3丁目)
11月	25日 サンドウィッチづくり 19名(8,10丁目)	
12月	3日 干し柿づくり 9名(1丁目) 10日 外食(五福) 10名(3丁目) 17日 誕生会・Xmas会 10名(1丁目) 26日 ドライブ(愛宕神社) 4名(6丁目)	6日 べったら漬けづくり 5名(1丁目) 15日 誕生会 10名(10丁目) 19日 Xmas会 10名(8丁目)
1月	15日 誕生会 10名(1丁目) 23、28日 初詣(菊池神社) 8名(5丁目)	15日 誕生会 14名(8,10丁目) 30日 外食(かつぱ寿司) 8名(7丁目)
2月	4日 芋かりんとう、芋ぜんざいづくり 10名(1丁目) 22日 外食(さんぞくや) 10名(3丁目)	17日 誕生会 22名(6,7,8,10丁目) 22日 誕生会 10名(2丁目)
3月	4日 誕生会 9名(1丁目) 22日 バスハイク(西部運動公園) 10名(5丁目) 26日 バスハイク(かまくら) 2名(6丁目)	18日 誕生会・カラオケ大会 20名(8,10丁目) 22日 バスハイク(西部運動公園) 2名(6丁目) 30日 野球観戦(ヤフオク) 7名(3,7丁目)

(センター)

平成30年度実習・研修生等受け入れ状況

(単位:名)

月	初任者 実務者 研修	小学校	高校	専門学校	大学生		企業 研修 (派遣会社)	福岡県社会福祉協議会 (小学校及び中学校の教諭免許状授与に係わる実習)							月計①	
		施設見学	職場体験	社会 福祉士	歯学部	医学部		西南学院 大学	中村学園 大学	東京未来 大学						
4																0
5																0
6																0
7																0
8									15							15
9									5							5
10																0
11																0
12											5					5
1																0
2																0
3										10						10
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	20	10	5	0	0	0	0	35

月	福岡歯科大学			福岡看護大学	福岡医療短期大学							月計②	総計 ① + <th rowspan="2">②</th>	②	
	第1学年 介護実習	第3学年 介護実習	第5学年 介護実習	第1学年 フィールド 実習 ボランティア	歯科衛生学科		保健福祉学科								
					臨床実習	初任者 研修	1学年 体験学習	I-a	I-b	I-c	II				
4							4						4	4月	4
5													0	5月	0
6				28									28	6月	28
7										72			72	7月	72
8													0	8月	15
9											16		16	9月	21
10		31									62		93	10月	93
11									28		6		34	11月	34
12									20	8	4		32	12月	37
1										4			4	1月	4
2										11			11	2月	11
3													0	3月	10
合計	0	31	0	28	0	0	4	0	59	84	88		294	合計	329

29年度 123
※延べ人数で記載

【事業報告の附属明細書】

特になし

平成 30 年度 ご意見・ご要望等

【サンシャインプラザ】

・注射器の管理について指示したとおりに管理が出来ておらず、職員間の伝達できていない。

⇒対応：ご家族へ謝罪し、申し送りの徹底と写真による確実な伝達を実施した。

・注射の際、使用済みの針を再度使用し注射したことに対して、管理・教育等がどのようになっているのか。

⇒対応：ご家族へ謝罪し、経緯について説明を行う。職員間の連携と伝達及び教育を実施した。

・職員の対応が悪く、自分の家族がどのような介護を受けているか不安である。職員の利用者対応等についてしっかりと教育してほしい。

⇒対応：ご家族へ謝罪し、利用者への対応等について職員への指導を行った。

・施設を利用中に衣類等が紛失した。また、利用した本人が入浴時に汚いタオルで洗われたと言っている。どのような介護を行っているのか。

⇒対応：各職員に聞き取りを行い、事実を確認した。荷物確認の徹底と使用する物品の確認を行い、職員間で再度情報共有を行った。

【サンシャインセンター】

【ご要望】

①定期受診について看護師とユニット職員の連携が取れていないのではないか。受診日をユニット職員が知らなかった。メモを残すとか工夫してほしい。

⇒調査の結果、前日に看護職員から口頭で夜勤明けの介護職員に伝えており、そのことを他の職員へ申し送っていなかったこと、前日の受診経過をケース記録に入力していないことが要因として考えられました。リーダー会議にて上記内容を周知し、職員間の役割や責任を明確にして情報の共有化を図るとともに、関係部署との連携体制を確立し、円滑に介護サービス提供が行えるように指示致しました。

②A介護職員はいつも笑顔で挨拶され、気配りのできるスタッフがもっと増えれば安心して任せることができるなあと感じました。

⇒『適切な挨拶』が組織の習慣になると指示されなくても自ら好ましい行動を起こす、気配りのあるスタッフへと変化し、組織や施設の風土が協力的で明るく前向きに変化できると考えております。組織をあげて『適切な挨拶』の習慣化に取り組むべく発信してまいります。

【ご意見】

①面会時当該ユニット職員に会えば父から暴力を振るわれると聞かされます。先日は他の入所者の食事介助をしながらしつこく文句を言われました。いちいち聞かされた所で建設的な話にはならず苛立ちをぶつけられているようにしか感じられません。

⇒ご不快の思いをおかけし申し訳ございませんでした。認知症の症状及び職員の対応への不安や恐怖等が、様々な要因で暴言や暴力に繋がってしまうことがあります。それは介護職員も重々承知してケアに当たっております。職員のほうも受診を要する怪我までには至っておりませんが、打撲痕や皮下出血になりながらもご利用者に怪我をさせないよう一生懸命対応しております。当時このような症状が続き今後重大な事故に発展する恐れもあったため、実情をご家族に説明、積極的な協力を求めるとともに改善を目指したかった次第であり意図的な要素はなかったと認識しております。またその後の経過と致しましては度々暴言・暴力の症状は見受けられていますが介護職員の負傷なく対応できている状況下にあります。

②認知症の方との関わり方を見直すのに良い内容を目にしましたので同封します。

⇒意見書と一緒に同封されていたものは『パーソン・センタード・ケア』という認知症ケアの内容であったと承知しております。認知症の人が欲求を満たして心安らかに過ごすために、介護側の都合や思い込みではなく、認知症の人の感情を把握するために認知症ケアマッピング(DCM)を用いた手法でケアのあり方を考え提供していきます。一方でサンシャインセンターでは、認知症ケアについては国際医療福祉大学大学院竹内孝仁教授が提唱する「自立支援介護」の理論を手法としております。認知症を治すための中心的なケア内容

(水分、栄養、運動、便秘解消)で身体的な不調を改善しながら、その特有の症状の改善または消失を図るというものです。またサンシャインセンターでは好きな時に起きて好きな時に食べて好きな時に入浴するという『個別ケア』の考え方は開設当初からございません。本人のこれまでの生活習慣から見直し要介護状態の維持・改善を図ることが意図としてございます。朝になったら起きてしっかり朝食を摂る、昼間は積極的に活動し、夜ぐっすり眠るという体の中にリズムを刻む時計、いわゆる「体内時計」を矯正するという考え方はです。このように施設によって介護全般や認知症介護についての方針や考え方はさまざまです。介護保険制度では契約制度のため利用者自らがサービスを選択できるようなシステムでございます。ご利用者の楽しみや好み、本人の趣味、好きなことができるかどうか等ご利用者の希望に適した施設を選ぶことが重要になってくるのではないかと考えております。

③11/9にIPS細胞を使ったパーキンソン病患者の治療を実施と号外ニュースが流れました。母はIPS細胞による治療が始まるのを期待していました。母の気持ちを考えると窒息事故さえなかったらと悔しくて悔しくて本当に残念でたまりません。

⇒IPS細胞からつくった神経細胞を、パーキンソン病の方の脳に移植する臨床試験(治療)が始まったと承知しております。治療がうまくいって、一般的な医療となり、パーキンソン病の方々にすすめられる治療となって欲しいと祈念いたしております。また窒息事故の件でございますが、事故は100%防ぐことは難しいですが、いかに誤嚥・窒息事故を未然に防いでいくか尽力しておりますのでご了承のほどよろしくお願い致します。

④窒息を回避するために食形態を変えたところで事故を防げるかということそうでもない、見守りが必須だと思う。しっかり注意を払ってもらえれば窒息事故を避けることができたのではないかと。

⇒誤嚥・窒息事故を防ぐ基本と致しましては、利用者本人の嚥下能力を十分に把握した上で、食事の姿勢や食事の形状の配慮、飲食時の見守りをしっかり行うことが重要であると考えております。誤嚥した場合、通常むせたり咳込んだりすることで誤嚥のサインと気づきますが、加齢や認知症の症状、疾病の進行等により嚥下機能が低下することで誤嚥の危険性が高くなります。また誤嚥していてもむせないことがあり誤嚥のサインに気づきにくく見守りをしている場合があることをご理解下さい。万が一誤嚥してしまった場合は、マニュアルに準じて意識確認、応急処置、救急搬送等の手配を致します。

現在、サンシャインセンターでは入所時にご本人の身体状況や病気により誤嚥・誤飲・窒息の危険性が伴うことを説明し、十分に理解して下さった上でご入所して頂くようお願いしております。また、摂食・嚥下対策委員会を設置し、歯科医師・歯科衛生士・看護師・管理栄養士・介護職員らと協力しながら、できるだけ安全に、おいしく口から食べていただくために、口腔衛生、食事姿勢、食事形態や介助の工夫、嚥下機能訓練等を実施し、状態に応じてご家族了解のもと耳鼻科受診し、摂食嚥下に関する助言・指導を仰ぐ等して誤嚥の防止・再発予防に取り組んでおります。

⑤3/21夕食の菜の花が一本長いまま提供されたと聞いた。食形態は見た目重視よりもきちんと嚙めてきちんと飲み込める大きさや長さであるかを重視してほしい。

⇒この日の夕食は管理栄養士が検食をしており、菜の花は3cm程に切って提供してありました。これまで兄弟施設であるサンシャインプラザでも毎年菜の花は提供しており、事故は発生していないこと、また他入所者にも同様の事故がなかったこと及び菜の花に関する意見もなかったことから、提供については問題なかったと認識しております。きちんと嚙む、きちんと飲み込む動作については声掛けや見守りで対応していきます。また歯科医師や歯科衛生士による口腔内観察を行い、咬合力低下が見られる場合等本人の状況に応じて食形態の提案をさせて頂きたいと考えております。ミキサー食や刻み食等の介護食は見た目よりも食べやすさや飲み込みやすさを重視して作られているものです。健康な人でも、誤嚥したり肺炎になったりすることもあります。ミキサー食や刻み食に変更したからといって肺炎や誤嚥しないとも限りませんが、見た目の美味しさが損なわれることで食欲が減退して逆に食べられないという事態にならないように、定期的開催する給食委員会で意見交換をしながら味や調理方法、盛り付け方法を工夫してまいります。